

「ひと輝く・四季彩のまち

施政方針とは、新しい年度の町の基本方針や政策などについての姿勢を示すものです。町長は議会において、施政方針の演説を行います。ここでは、その概要と施政方針演説に対する主な質問を紹介します。

町長 施政方針の概要

平成23年度から「第4次海田町総合計画」がスタートする。これまでの基本的な考え方は継続するとともに、この計画の基本構想に掲げる都市像「ひと輝く・四季彩のまち かいだ」の実現を目指す。

平成23年度は新たな施策の実現に向けた、いわば仕込みの年となるので、主に各種の計画策定や実施設計を行い、これらを通じて今後それぞれの成果をあげていく。

予算編成においては、一般行政経費の※マイナスシーリングの実施やさらなる事務事業費の精査を行うなど、財源確保に努め、限られた財源の中で第4次海田町総合計画に掲げられた各種施策の推進に財源を重点配分した。

※マイナスシーリング…予算要求などに当たって、前年度より一定の率を減らすこと。



接続可能なまちづくりを目指す

Q 総論として、町民の暮らしを守るという地方自治の本旨がぬけているように見受けられるが、そのことをどう考えているか。

A 町民の暮らしを守るということは、安全・安心のまちをつくるために欠かせない問題と認識している。うるおいのある生活をしていただくため、総合的にこの問題に取り組んでいく。

Q 子育て支援の充実ということが言われているが、高齢者施策の充実がぬけていると思われる。戦後この国を立て直してきたのは、今の高齢者である。子育て支援は重要であるが、高齢者に対する施策を打ち出す考えはないか。

A 町を今日まで支えてくださった高齢者の皆さまに対しての支援などについて惜しまないつもりである。今後とも良い知恵をいただきながら、高齢者の方々と一緒になってまちづくりに取り組んでいきたい。

Q 寺迫交番前の崩れた護岸が半年も放置されている。安全・安心の問題について、どのように考え、対応していくつもりか。

A 町民の皆さまからも指摘をいただいている。先般も河川の担当である県の方に厳しく申し入れをしているので、早急に対応していただけると確信している。



梅雨には間に合いそうです

かいだ」がスタート

平成23年度から32年度までの「第4次海田町総合計画」がスタートします。ここでは、平成23年度予算で新たに取り組まれる事業や、さらに拡大・充実された事業のうち、主なものを紹介します。

新規・拡充事業

環境にやさしく快適なまちづくり

新規 ひまわりプラザ太陽光発電設備整備事業 **2,130**万円
ひまわりプラザの屋上に太陽光発電設備を整備します。

新規 ごみ焼却施設解体に伴う設計や調査 **888**万円
ごみ焼却施設の解体工事を行うための実施設計と事前調査を行います。

安全・安心で災害に強いまちづくり

新規 消防車両整備事業 **966**万円
老朽化した消防ポンプ車を普通積載車に、軽積載車を輸送車に買い替えます。

新規 防災情報伝達体制整備事業 **499**万円
防災行政無線の音声を屋内で受信したい世帯のため、防災ラジオを整備します。

新規 耐震診断事業 **500**万円
幸保育所、西浜保育所、海田東公民館の耐震診断を行います。



元気に大きくなってね

健康で人に優しいまちづくり

拡充 疾病予防事業 **1億1,354**万円
子宮頸がんワクチンなどの接種を継続し、新たに、特定の年代に達した方を対象に大腸がんの無料検診を行います。

拡充 妊婦・乳幼児健康診査事業 **3,771**万円
HTLV-1抗体検査に加え、新たにクラミジア抗原検査を追加します。

子育てしやすいまちづくり

拡充 乳幼児等医療費給付事業 **4,710**万円
入院医療費の助成対象を中学3年生までに引き上げます。

新規 第2海田南児童クラブハウス実施設計業務 **500**万円
第2海田南児童クラブハウス整備のため、実施設計を行います。

新規 小学校外国語活動指導補助業務 **334**万円
これまでの英語指導補助業務事業に加えて、小学校において指導助手による活動の充実を図ります。